

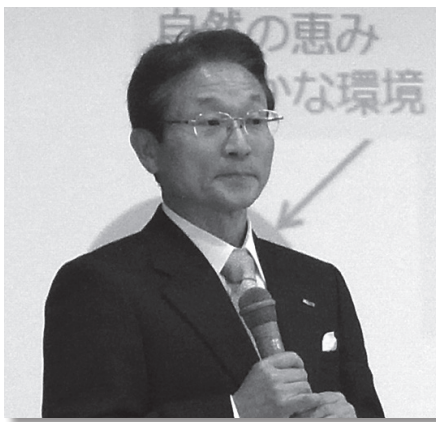


■被災地出張授業……12月12日

働くこととは

講師：杉江 和男 学校と経営者の交流活動推進委員会 委員長 (DIC 取締役会長)

IPPO IPPO NIPPONプロジェクトによる被災地出張授業が行われた。今回は、杉江和男学校と経営者の交流活動推進委員会委員長が岩手県立宮古商業高等学校を訪れ、1、2年生(308名)を対象に、働くことの意義や社会が求めている人材について語った。



社会はやる気のある人を求めている

今日は働くことについて、また社会が求めている人材について話します。人は、それぞれ異なる特性を持っています。運動能力に優れた人、学力に優れた人、芸術にたけた人などさまざまです。また、これからは女性の特性を活かした活躍がもっと期待される時代になります。今日の話が、皆さんが将来自分の特性を活かした仕事に就くための、ヒントやきっかけになればと思います。

私は北海道で生まれ、高校まで田舎で育ちました。人口は5,000人ほどの町です。宮古市の10分の1ぐらいでしょうか。高校のときに化学の授業で元素の周期律表を「水兵リーベ僕の船～」と語呂合わせで覚えたら、問題が簡単に解けることに気がきました。そうすると化学の成績が上がり、今の仕

事に就くきっかけの一つになりました。

さて、今、社会はどんな能力を持つ人材を求めているのでしょうか。経済同友会の会員の所属企業へ「どういう人を採用したいか？」というアンケート調査を実施しました。一番は熱意・意欲、次に行動力・実行力、そしてチームワーク力、誠実さ・明るさ、課題発見・解決力と続きます。

この結果をよく見てみると、この中に勉強ができる人は入っていません。専門知識を持っている人が8番目にあるくらいです。つまり、社会が求めているのは、まずはやる気のある人なのです。

夢や目標を持つとう

皆さんに質問します。人は何のために、誰のために働くのでしょうか。企業に勤める、起業する、主婦が家の中で家事をすることも働くことです。

働くのはお金を稼ぐため？ 自分や家族のため？ 日本のため？ 社会のため？ 地球のため？ これらは全部正解です。

人生を大きな木に例えると、まず小さな木のうちは、習い事、勉強、部活といった栄養分を吸収しながら育ちます。さらに、チームワークや自立心、人間性、行動力を身に付け、成長していきます。これが今の皆さんの状態です。ここで最も大切なことは、太陽の光、すなわち夢や目標を持つということです。

夢や目標が学ぶことへの意欲につながり、大きな木に育っていくのです。

夢や目標は、成長につれて変わることもあるでしょう。私は、小学校の時は警察官に、中学校ではパイロットになりたかった。でもパイロットは視力が悪いので駄目だと分かってあきらめました。そして高校で化学に出会い、化学の道に進みました。

もちろん、夢や希望は必ずしもかなうわけではありません。誰もがプロのサッカー選手になれるわけではない。しかし大切なのは、それに向かって努力すること。その過程が大事なのです。努力したことは、必ず皆さんの体の栄養分として、将来の力になります。今学ぶことが、将来の働くこと、自立することにつながるのです。

社会と私はWin-Winの関係にある

将来良い仕事をすれば、会社の役に立ち、より良い製品が生まれ、社会のため、人のためになります。そういう仕事に携わった人は、きっとやりがいや幸せを感じると思います。それが働くということなのです。

働くということは、会社のため社会のためであると言うと一方的に聞こえるかもしれませんが、しかし、「私」という自分は、家族、学校、友達、そして会社、地域などそれぞれとかわり、

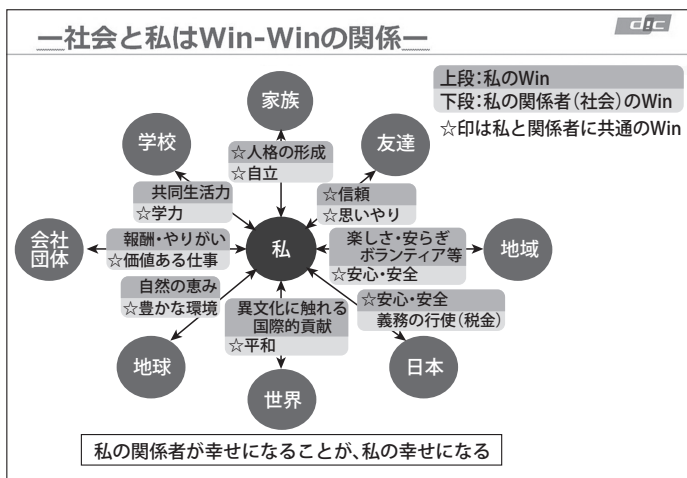
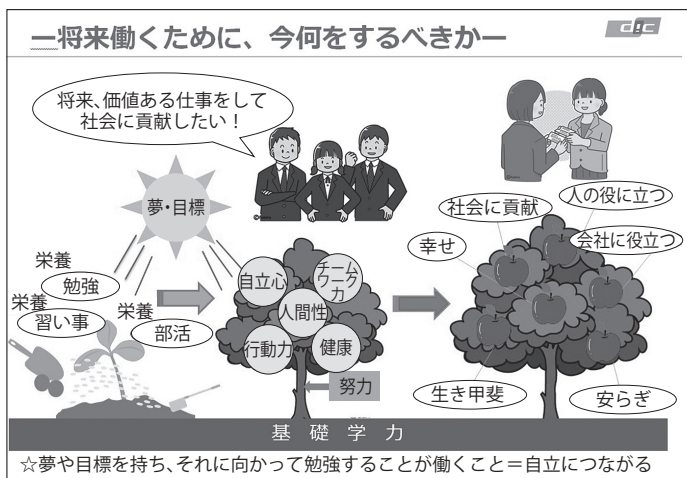
お互いにメリットを与え、与えられるWin-Winの関係にあるのです。それぞれがWin-Winの関係にないと長くは続きません。つまり、私の関係者が幸せになることが、私の幸せにつながることであるのです。

女性の特性が社会で必要とされている

今、女性が社会で必要とされています。冒頭に話したように、女性には女

性の特性があります。例えば、男性がデパートに服を買いに行くときは売場に一直線に向かいます。しかし、女性は寄り道をしながら行く。女性はそこでいろいろな情報を得ています。また主婦は、子育てをしながら、料理、洗濯といった家事など、複数のことを同時にこなします。これら女性の特性は、マーケティング・市場調査などの仕事において、お客さまの視点で物事を見て、お客さまのニーズを商

品で実現することに活かされます。相手の期待に応えることが、今、社会では強く求められています。ぜひ、女性の皆さんには、こうした特性を仕事に活かしてもらいたい。また将来、結婚して子どもができて、今は育児休暇があり、会社に復帰する制度も充実してきています。結婚して子どもを産んで、自分の能力をレベルアップしたら、また会社に復帰してほしいと思います。



生徒との質疑応答

Q 仕事で、常に心掛けていることは何ですか？

A 何か、他の人よりもできることを見つけることです。私は、事業の計画をつくるのが得意でした。でも、仕事は一人ではできません。いくら社長でも、なんでもできるわけではありません。だから、お金の計算が得意な人、法律の得意な人など、さまざまな人が得意な能力を持ち寄って、みんなで力を合わせる。チームワークをとって大切にするように心掛けています。

Q どんな仕事でやりがいを感じましたか？

A 会社の製品が時代のニーズに合わなくなり、業績が悪くなったことがあります。社員もみんな変わらなければならないと分かっていたのですが、どう変わればいいのか分かりませ

んでした。そこで、当時社長だった私は会社の方向を大きく変えました。その時に、社員がついてきてくれるか不安でしたが、みんなが一生懸命ついてきてくれました。全国約30カ所の工場や事業所を回ってみんなとコミュニケーションを取り、やがて、会社が変わり始め、業績も良くなりました。その時にやりがいを感じました。

Q 今の杉江さんにとって、幸せと感じることは何ですか？

A 会長としては、社員がこの会社で働くことが幸せだと感じてく

れることが幸せです。営業部の人にはマーケティングで世の中の人々がどんな商品を求めているかを調査してもらい、技術部の人にはそのニーズに合った商品を開発してもらおう。そして、社会が必要とする商品が生み出されれば、会社の利益も上がり、社員の給与も上がる。そこで、開発に携わった人はやりがいや幸せを感じるはず。それが、私の幸せでもあるのです。個人的には、家内に感謝されることが幸せです。